

# 呉市広地区子供の居場所づくり フォルトウーナ

【代表】 広島国際大学 健康科学部 社会学科 地域創生学専攻2年 松井孝太郎

【常任スタッフ】 2年・湯原悠仁 田原花菜 臼井瑛末 胡絢人 今藤亜弥音

【特別講座臨時スタッフ】 2年・福島 加藤 梶川 佐々木 羽納 藤原 伊藤 中山  
1年・山本 栢野 境江 北山 内田 長田

呉地域OCN学生の夢応援プロジェクト


# 事業の動機と目的・目標

- ・ **動機**：横路小学校の校長先生から、大学ともっと連携したいと伺った。小学生や中学生が放課後に広島国際大学のカフェスペースで勉強しているのを見ていた。

そこで、私たちが大学で学んでいる事を子どもたちに還元したいと考えた。

- ・ **目的**：小学生・中学生・高校生が大学生と交流できる環境を作ること。

- ・ **目標**：大学でしかできない活動と一緒にやってみる



# 参加者募集 小学校でチラシ配布、

## Google フォームで保護者入力により受付

11月、2月特別講座版

低学年が読める  
ようにルビ入れ

### 呉市 広地区 子どもの 居場所 フォルトゥーナ



ドローン  
3Dプリンター  
など最新技術が  
学べる!



勉強は最初にして  
大学生が教えます!



毎月1回土曜が日曜  
特別講座をします!

対象 / 横路小学校、横路中学校、呉商業高校、広中央中学校、白岳中学校、広高校、  
呉港高校 全学年  
受付場所 / 広島国際大学 呉キャンパス1号館 1階 (〒737-0112呉市広古新開5-1-1)  
開催場所 / 大学内の 教室、体育館 など  
企画運営 / 広島国際大学 健康科学部 社会学科 地域創生学専攻  
1年次、2年次の学生と先生  
開催日 / 9月25日から毎週木曜日、特別講座は月1回 土曜日または日曜日  
開催時間 / 午後4時半 受付～小学生は6時半まで、中・高生は午後7時半まで  
料金 / 無料  
ウラも見てね!

※令和7年度 呉地域オープンカレッジネットワーク会議 学生の夢実現プロジェクト採択事業

9月は ドローン  
10月は ドローンと 3Dプリンター  
11月は ...  
12月は ...  
1月は ...

フォルトゥーナ募集チラシ20250914.pdf

### フォルトゥーナとは

広島国際大学 社会学科 地域創生学専攻の学生が学んできたことを、地域の子どもたちに役立てたいという想いから集まった学生グループと専攻の先生です。フォルトゥーナ(fortuna)はスペイン語で幸運の意味。呉市がスペインのマルベジャ市と姉妹都市であることにちなんで名づけました。

### 内容

9月25日から 毎週 木曜日 16:30受付、そのあと教室に移動します。  
まず30分間、大学生といっしょに宿題をしよう。  
そのあとは毎月の行事(ドローン、3Dプリンター、ポッチャ、工作など)を大学生といっしょにやってみよう。  
小学生は6時半に帰ります。

特別講座 毎月1回土曜日  
10月は「カルタづくり、など、半

1回ごとに申し込んでください  
(Google フォーム)

- 【申込みフォームに書くこと】  
(原則として中学生以上)
- ・名前、学校名、学年
  - ・参加したい日
  - ・終わってからの予定
  - ・返信用メールアドレス
  - ・万一の場合の緊急連絡先

保護者の方へ: この事業は、呉市が学教授・石原恵子の指導のもと、行事参加中の事故による死亡・後遺症(後遺障害)に加入しています。万一のときに保険を適用する場合があります。この事業に関する連絡は、行事参加中は大学生が一緒に(小学生はお迎え)をお願いします。

お問い合わせ先  
フォルトゥーナ代表 松井  
メール: fortuna.kure.S6  
携帯電話: 08025985897

呉市 広地区 子どもの  
居場所 フォルトゥーナ

ダンボールベッドを組み立てよう!  
エアマットの寝心地はどうかかな?

呉市 広地区 子どもの  
居場所 フォルトゥーナ

奈良時代から塩が作られてきた山口県周防大島で、塩作りを復活させ、「龍神乃鹽」を作っている  
合同会社「龍神の里」から先生をお招きします

広・横路地区の小中高全学年を対象  
広島国際大学の教室で実施

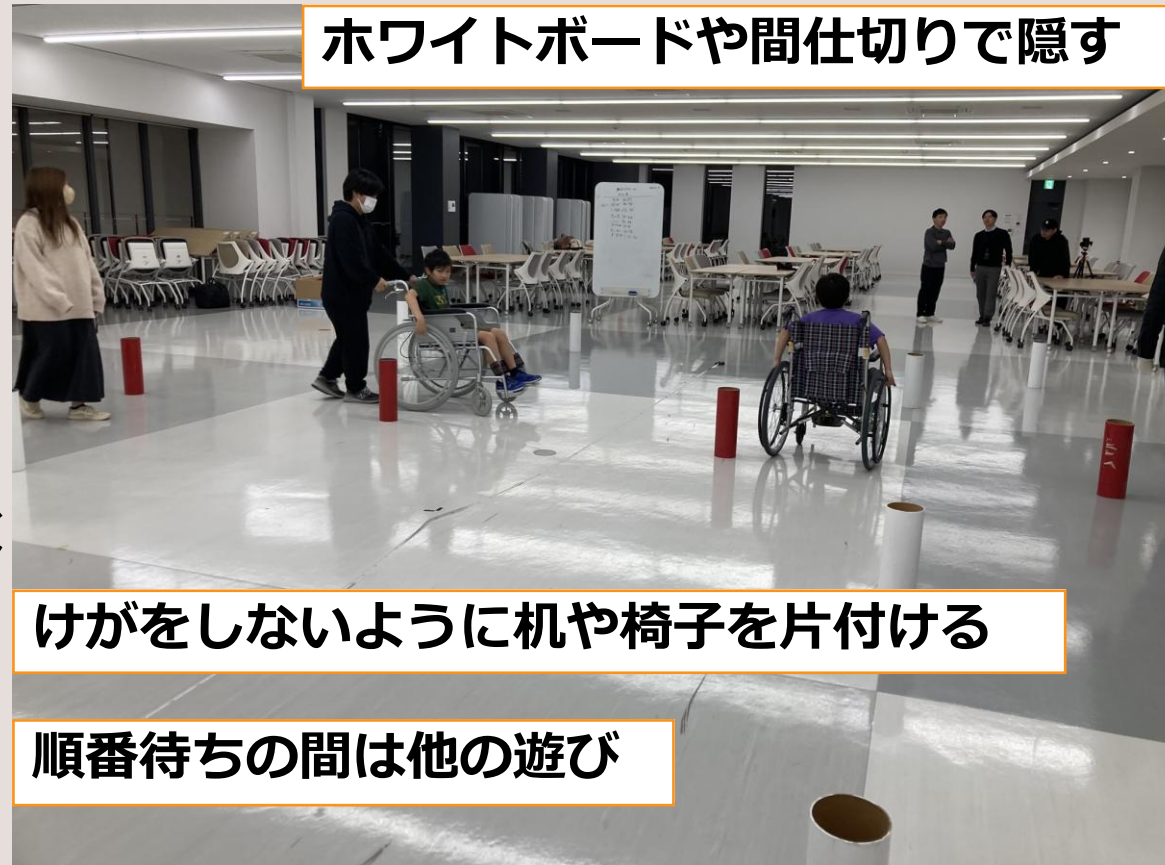
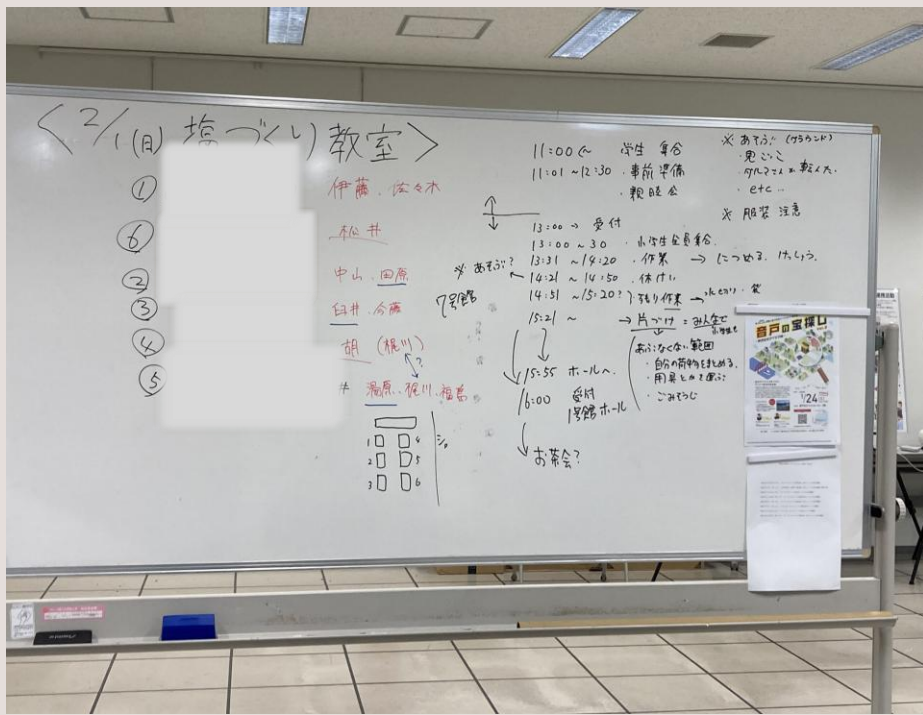
学生の授業がない毎週木曜日午後4時半から6時半  
宿題30分、活動1時間  
月1回は土日に特別講座2～3時間

小学校で配布していただくために、

- ・公的な事業であることを明示(呉地域OCN会議の助成事業)
- ・イベント保険に加入
- ・帰りは保護者のお迎え
- ・個人情報情報は学生でなく、大学で先生が管理

# 木曜日の準備

- 火曜の授業のあとで集まって、参加する子どもの班分け、学生の担当者、子どもが飽きない手順を話し合ってた。



ホワイトボードや間仕切りで隠す

けがをしないように机や椅子を片付ける





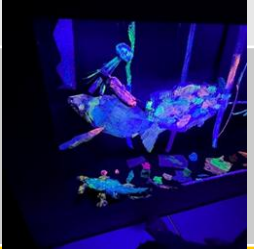
順番待ちの間は他の遊び

車いすスラローム  
広島国際大学3号館2階IPEホール

普段の可動式  
椅子と机



# 実施した講座と参加者数

実施日（参加者数）	宿題のあとの講座	
9/25(5), 10/2(12)	トイドローン操縦	
10/9(13), 16(11), 23(14), 30(9)	3Dプリンターでスタンプ、しおり作り	
11/6(10), 13(15), 20(), 27(12)	ボッチャ、車いすスラローム	
12/4(13), 11(15), 18(16)	新聞紙で風船づくり、牛乳パックでペン立て作り、ピンポン玉でバランスゲーム	
1/8(11), 15(16), 22(13), 29(16)	静電気で回るおもちゃ作り、ブラックライトで光る水族館作り	

# 月に1回の特別講座

実施日 (参加者数)	内容
10/25 (9人)	カルタを作ろう 呉のこと、自分のことを書いたカルタ
11/29 (9人)	防災教室 テント・トイレ組立体験、ペットボトルランタン、クイズ
12/13 (7人)	3Dプリンタでクリスマスツリーの飾りを作ろう 好きな模様の飾り
2/1 (13人)	塩づくり教室 海水を煮詰めて水切り



# 講座の様子



ストローにアルミ箔を巻いてこすることで、  
静電気を作って回す



机や椅子でコースを作って、ドローンを飛ばす

# 学生から見た振り返り

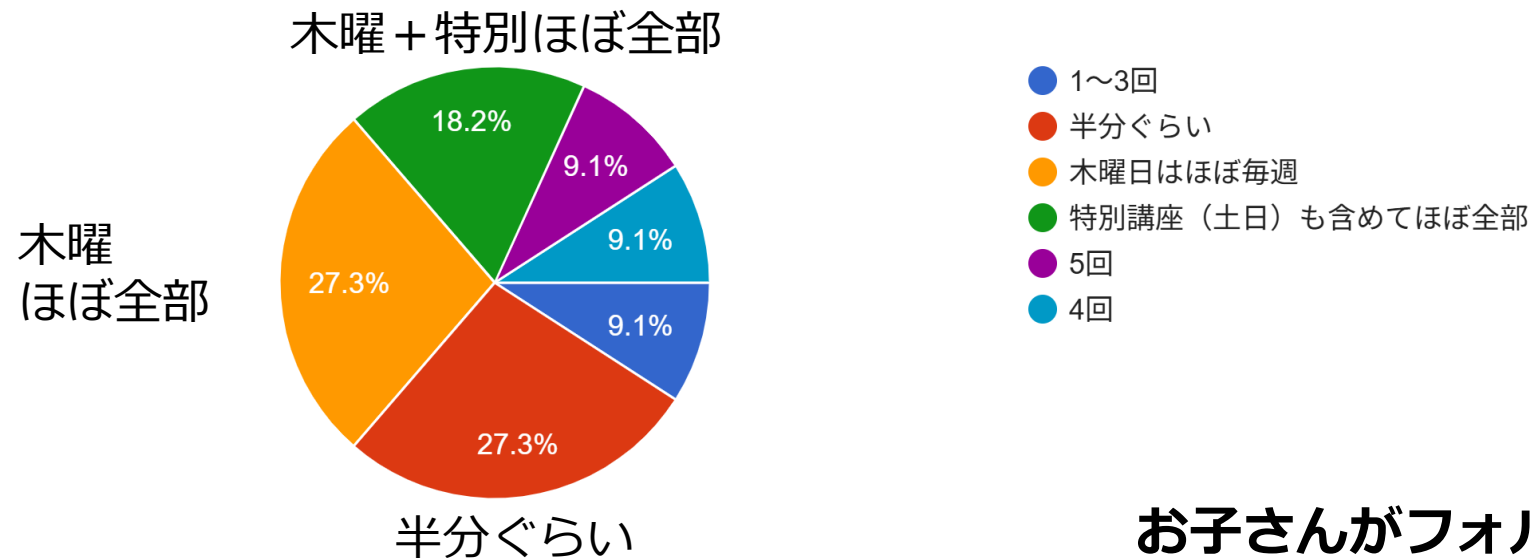
- 子供の反応
- だんだん大学生になつてきてくれた。子供達からボッチャや3Dプリンターをもう一度企画して欲しいというリクエストがあり、それぞれ2回実施した。
- 学生目線
- 子供達との距離の取り方が難しかった
  - だんだんと近くなり、子ども達が活発になった一方で、指示を聞いてくれなくなってきた。目を離したすきに、広い床でスライディングをして壁に膝をぶつけた子がいた（医療機関受診の必要なし）。
  - そのため、改めてスタッフで教室にあるものを片付けたり、受付フォームで保護者に注意を促したりした。

# 保護者の声

Googleフォームで1回以上参加の全保護者に依頼、  
11名が回答

9月25日から2月1日までの全20回（特別講座含む）のうち、何回ぐらい参加されましたか？

11件の回答



## お子さんを参加させた参加理由（上位3位）

- 1.毎週の活動がお子さんに合っていたから (11)
- 2.自宅から近いから(11)
3. 大学生とお子さんが交流できるから(8)

## お子さんがフォルトゥーナから帰ってきたときの様子

- 1.楽しそうだった(10)
- 2.楽しそうな時もあったけど、残念そうにしていた時もあった(1)  
(1月ナイトアクアリウムが2回続きだと知らずに2回目だけ参加した)

# 保護者の声

## 自由記述から分類

- フォルトウーナの活動で良かった所
- イベントで子どもが楽しんだ（防災教室、蛍光塗料、工作）（6）
- 普段できないこと（3Dプリンター、ドローン、実験、塩づくり）ができた（5）
- 新しいスポーツで視野が広がった（1）
  
- 異年齢で交流できた・仲良くなった（3）
- 大学生と遊べた・触れ合えた（5）
- 大学生が優しく接してくれた（2）
- 大学が身近になった（1）
  
- 宿題を見てくれた（2）

# この活動を通して感じたこと

- 1. 地域創生学専攻の魅力** 先生方に工夫を凝らした講座を開いていただき、改めて自分の専攻の魅力に気づくことができました。
- 2. リーダーとしての責任** 様々な場面で決断をする必要があった。スタッフみんなのおかげで困難を乗り越えることができました。
- 3. 小学生との関わり方** 最初は、小学生とどのようにコミュニケーションをとったらよいか分からなかったが、回数を重ねるごとに小学生の方から積極的に話してもらえてうれしかった。